

# 釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

## 第19回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

日時： 令和6年8月20日（火） 14:00～16:00

場所： 釧路地方合同庁舎 4階 第3会議室

### ----- 議事次第 -----

1. 開 会
2. 議 事
  - 1) これからの湿原学習支援の方向性について
3. その他
4. 閉 会

### ----- 配布資料一覧 -----

- 第19回湿原学習のための学校支援ワーキンググループ 資料
- ・ 資料1 現在のワーキンググループの取組みについて
  - ・ 資料2 これからの取組みについて（案）

## 出席者名簿(敬称略・順不同)

### < 専門家 >

所属等	氏 名
再生普及小委員会委員長	高橋 忠一 ○
北海道教育大学釧路校 教授	境 智洋

### < 学校教員 >

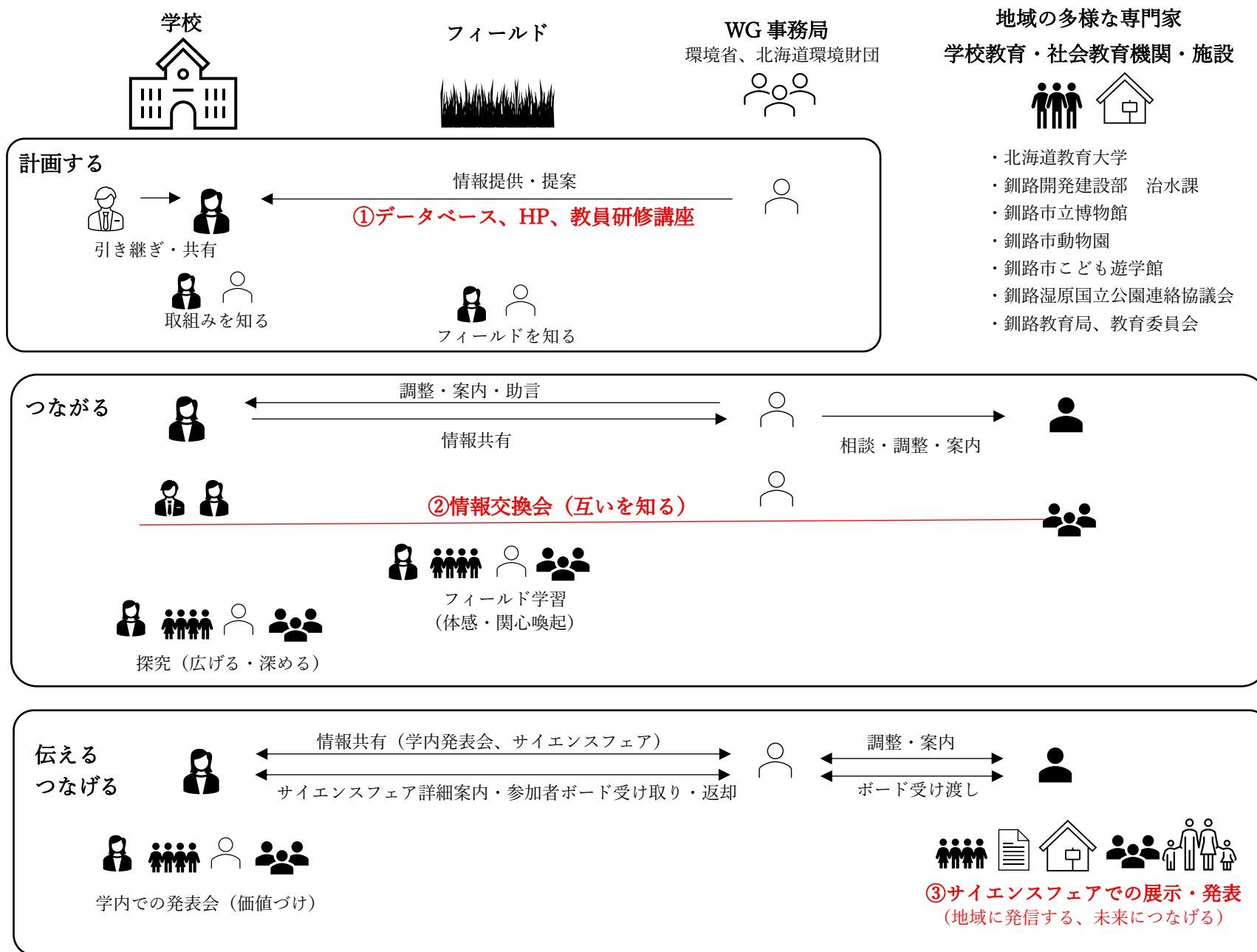
所属等	氏 名
釧路市立中央小学校	前田 進太郎 ○
釧路市立新陽小学校	柴田 康吉 ○
釧路町立富原小学校	續 智仁 ○
標茶町立標茶小学校	湯浅 憲二 ○
鶴居村立幌呂中学校	長谷 泰昌

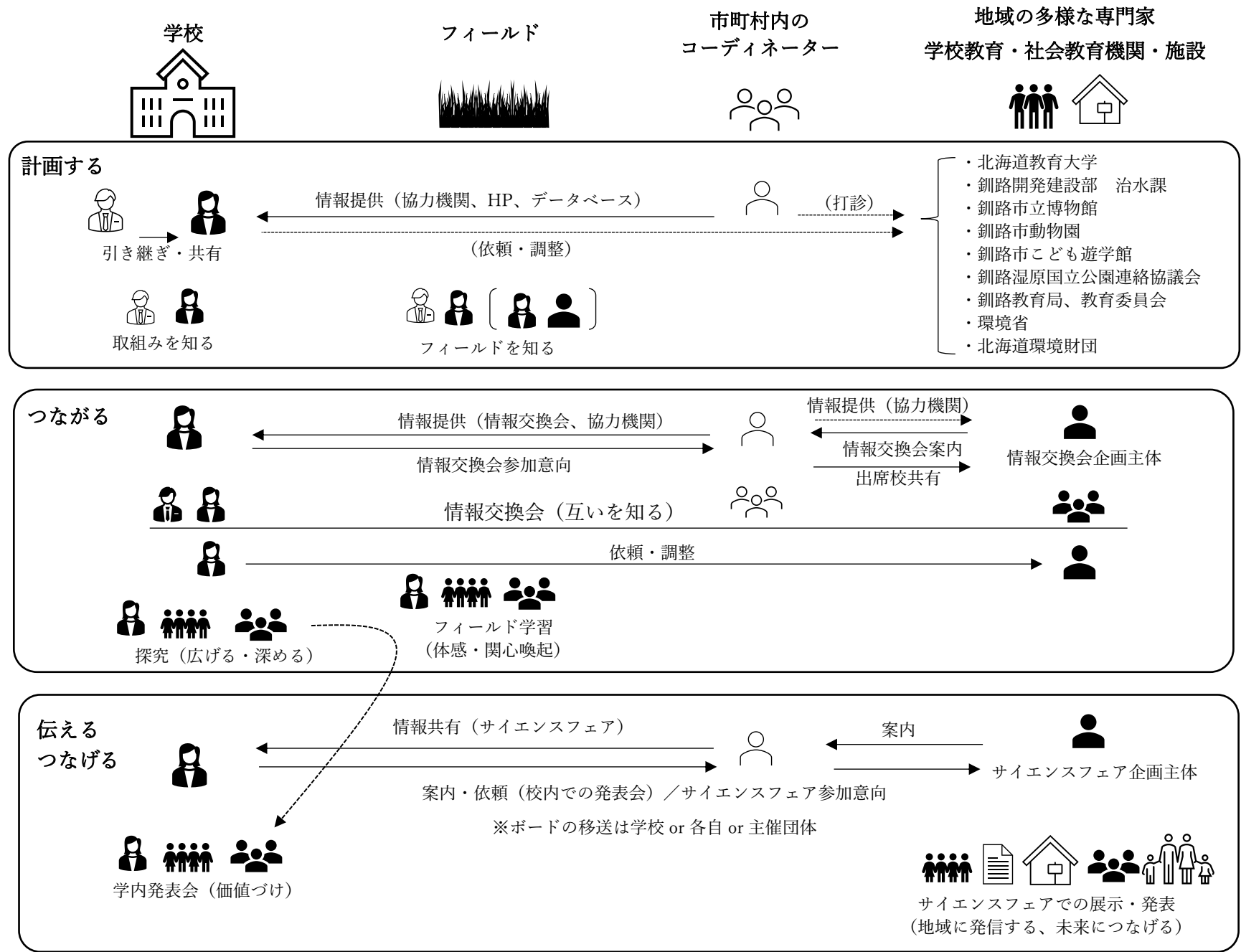
### < 学校教育行政機関等 >

機 関 名	氏 名
北海道教育庁釧路教育局 教育支援課 社会教育指導班	主査 角田 淳 ○
釧路市教育委員会 学校教育部 教育支援課	指導主事 佐藤 義人
釧路町教育委員会 教育部 指導主事室	室長 坪井 条太 ○ (オンライン)
標茶町教育委員会 指導室	指導室長 富樫 慎也 ○ (オンライン)
弟子屈町教育委員会 指導室	指導室長 武田 進一 ○
鶴居村教育委員会	タンチョウ自然専門員 音成 邦仁 ○ (オンライン)
釧路湿原国立公園連絡協議会	事務局次長 元岡 直子 ○ 事務局員 森 百合恵 ○
釧路市こども遊学館	事務局長 小笠原 忍 ○ 学習担当リーダー 古野 峻也 ○

### < 事務局 >

機 関 名	氏 名
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	自然保護官 境 耕平 ○ 自然保護官補佐 石下 亜衣紗 ○
公益財団法人北海道環境財団	企画事業課長 山本 泰志 ○ 企画事業課 安田 智子 ○





# 釧路湿原サイエンスフェア 研究発表会



**・プラットフォームが  
児童を育てる**

**・児童の学びが地域を育てる**

•  
**学びが  
深まる 広がる**

**意欲が高まる**

•  
**社会参画**

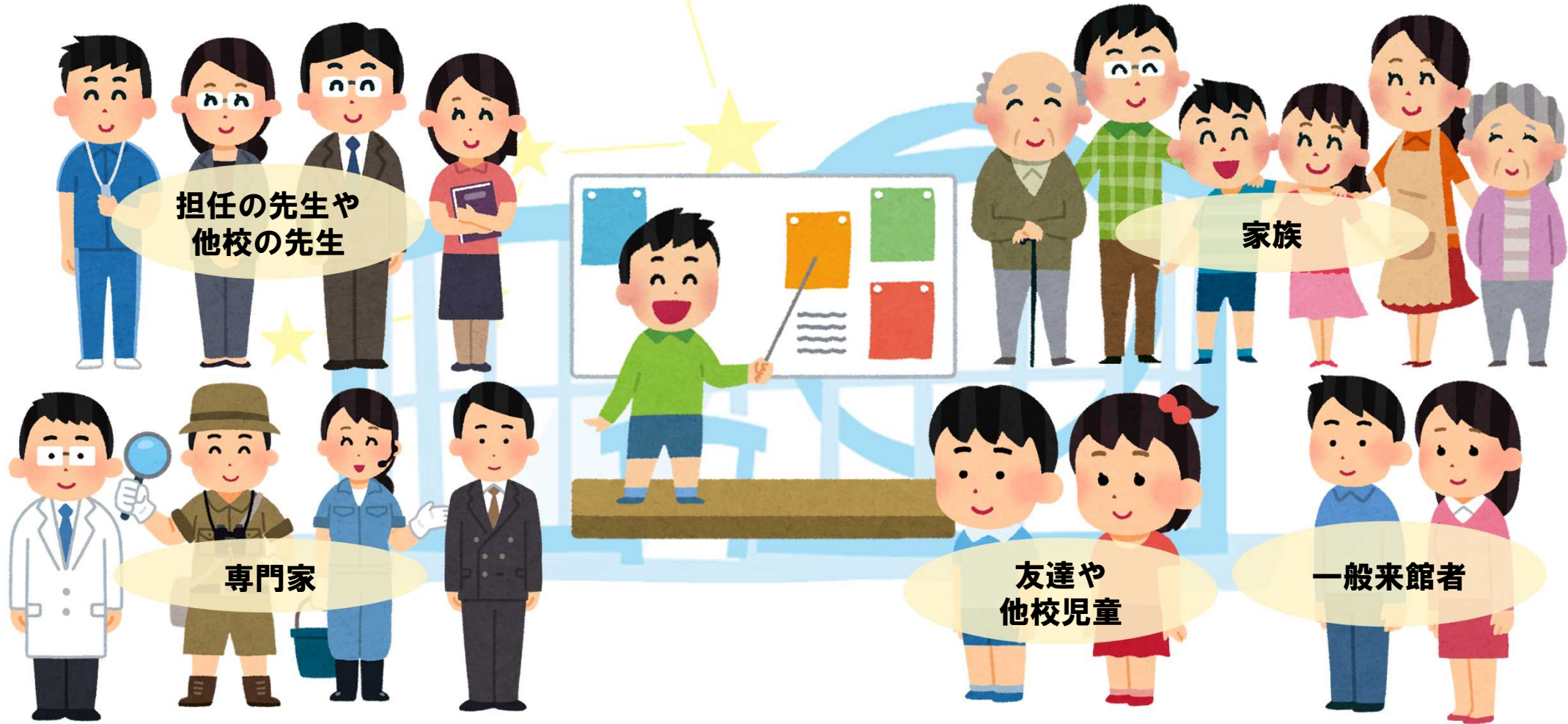
**自己効力感**

• **プラットフォームが  
児童を育てる**

• **児童の学びが地域を育てる**



# 児童がプラットフォームの中心に



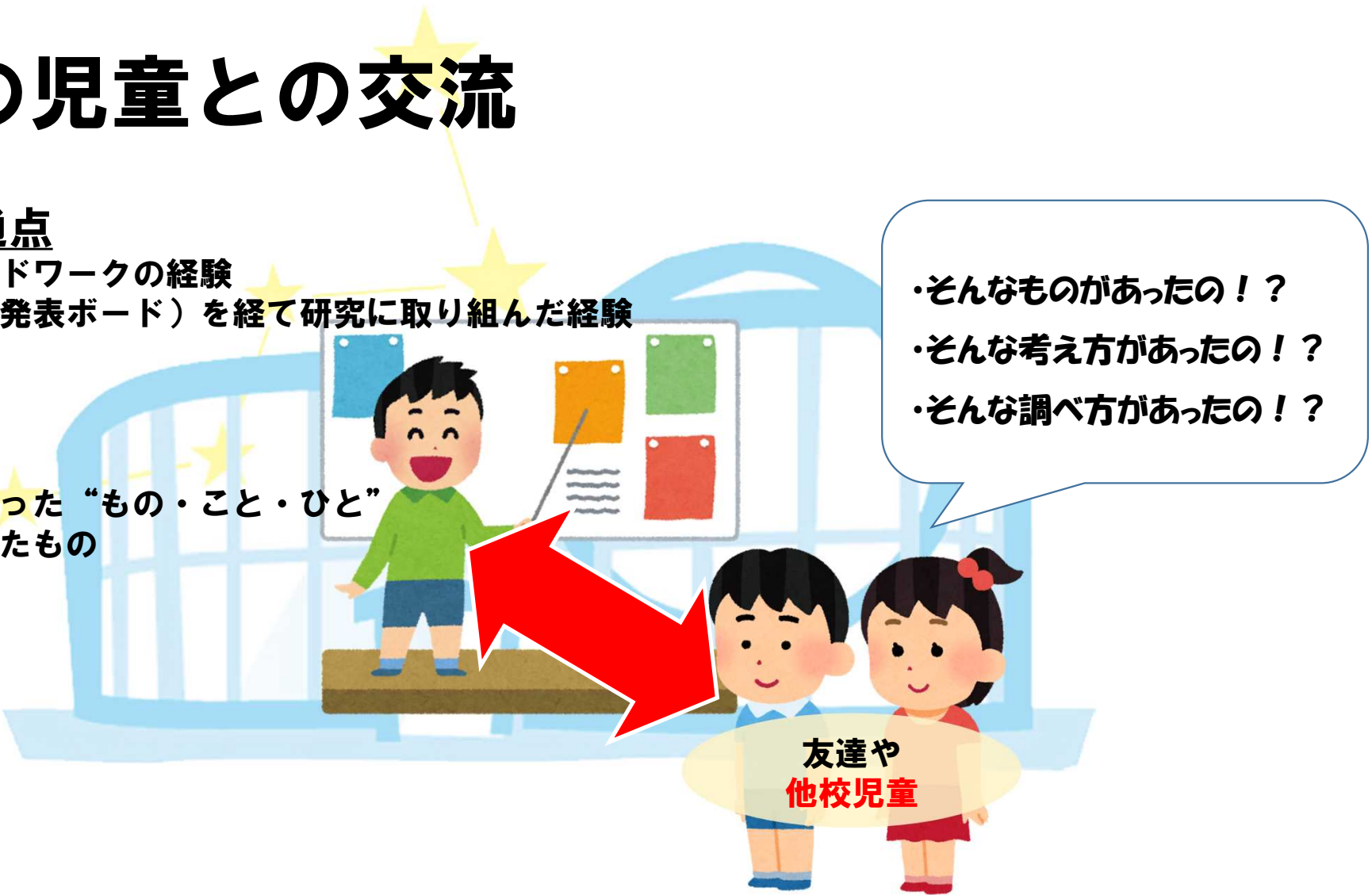
# 他校の児童との交流

## 児童同士の共通点

- ・ 湿原でのフィールドワークの経験
- ・ 同様の過程（研究発表ボード）を経て研究に取り組んだ経験

## 相違点

- ・ フィールドで出会った“もの・こと・ひと”
- ・ 実際に興味を持ったもの

- 
- ・ そんなものがあったの!?
  - ・ そんな考え方があったの!?
  - ・ そんな調べ方があったの!?

友達や  
他校児童

# 専門家との交流 ★ 指導・評価


- ・素晴らしい研究だ！
- ・そんな考え方があったの！？
- ・ぜひ続けてください！

- ・専門的な観点からの評価
- ・継続・意欲を引き出す
- ・バックボーンを引き出す




自信や意欲の源に

2024.3.10(日)

 くしろしづげん  
「釧路湿原サイエンスフェア 研究発表会」アンケート  
該当するところに○をつけて下さい。

■あなたについてお聞かせください


名前 

■今日の発表会についてお聞かせください


Q1 遊学館で研究発表に参加して良かったと思うことを教えてください。  
くわいふに賞罰してもらったこと。

Q2 他の発表をきいて、気づいたことや感じたことがあれば教えてください。  
湿原にはたくさんふしぎがあること。

2024.3.10(日)

 くしろしづげん  
「釧路湿原サイエンスフェア 研究発表会」アンケート  
該当するところに○をつけて下さい。

■あなたについてお聞かせください


名前 

■今日の発表会についてお聞かせください

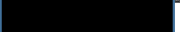
Q1 遊学館で研究発表に参加して良かったと思うことを教えてください。  
良かったこととか悪かったことを伝えていたから、  
もっと興味を持てた。

Q2 他の発表をきいて、気づいたことや感じたことがあれば教えてください。  
たくさんのテーマについて 学ばれた。

2024.3.10(日)

 くしろしづげん  
「釧路湿原サイエンスフェア 研究発表会」アンケート  
該当するところに○をつけて下さい。

■あなたについてお聞かせください


名前 

■今日の発表会についてお聞かせください


Q1 遊学館で研究発表に参加して良かったと思うことを教えてください。  
良い経験ができた。  
とにかくうれしかった。

Q2 他の発表をきいて、気づいたことや感じたことがあれば教えてください。  
一つの発表者がいろいろな事に広がっていたこと。

2024.3.10(日)

 くしろしづげん  
「釧路湿原サイエンスフェア 研究発表会」アンケート  
該当するところに○をつけて下さい。


■あなたについてお聞かせください

名前 


■今日の発表会についてお聞かせください

Q1 遊学館で研究発表に参加して良かったと思うことを教えてください。  
色々な意見を聞いたこと

2024.3.10(日)

 くしろしづげん  
「釧路湿原サイエンスフェア 研究発表会」アンケート  
該当するところに○をつけて下さい。

■あなたについてお聞かせください


名前 

■今日の発表会についてお聞かせください


Q1 遊学館で研究発表に参加して良かったと思うことを教えてください。  
副賞をもらったこと

Q2 他の発表をきいて、気づいたことや感じたことがあれば教えてください。  
釧路湿原にたくさん虫がいること

2024.3.10(日)

 くしろしづげん  
「釧路湿原サイエンスフェア 研究発表会」アンケート  
該当するところに○をつけて下さい。

■あなたについてお聞かせください


名前 

■今日の発表会についてお聞かせください

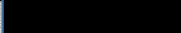
Q1 遊学館で研究発表に参加して良かったと思うことを教えてください。  
自分の発表を聞いてもらったことと人の発表も  
きけたこと

Q2 他の発表をきいて、気づいたことや感じたことがあれば教えてください。  
赤い ~~ずあか~~の正体 ~~くしろにももも~~  
がいたこと

2024.3.10(日)

 くしろしづげん  
「釧路湿原サイエンスフェア 研究発表会」アンケート  
該当するところに○をつけて下さい。

■あなたについてお聞かせください

名前 

■今日の発表会についてお聞かせください

Q1 遊学館で研究発表に参加して良かったと思うことを教えてください。  
賞をもらったこととみんなの発表をきけたこと

Q2 他の発表をきいて、気づいたことや感じたことがあれば教えてください。  
色々な虫のこと

釧路市立博物館  
野本 学芸員

釧路信用金庫  
佐藤 業務部長

教育大釧路校  
越川 キャンパス長

釧路市動物園  
飯間 獣医師

こども遊学館  
荒井 館長

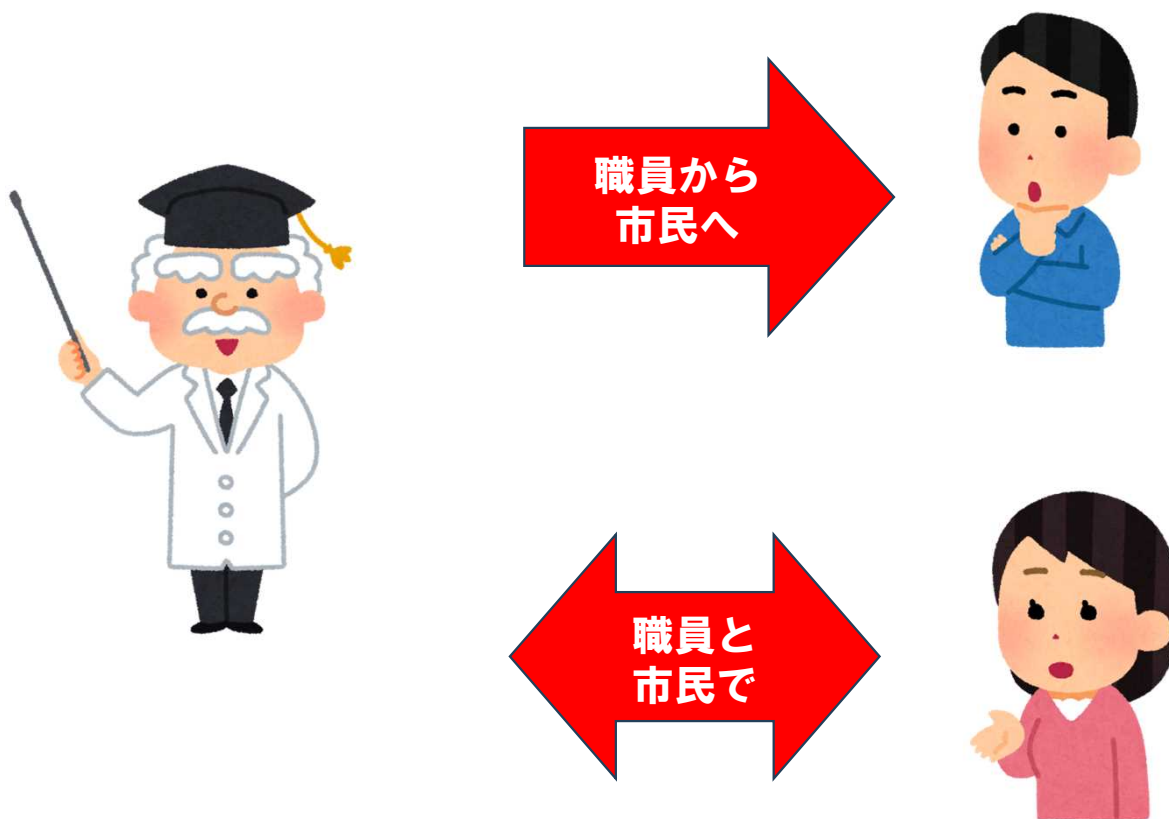
教育大釧路校  
境 教授（審査委員長）



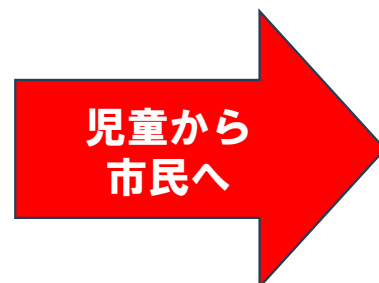
• プラットフォームが  
児童を育てる

• 児童の学びが地域を育てる

# ミュージアムの一般的なイメージ



# 児童発信のサイエンスコミュニケーション





# 児童の学習は侮れない！



# 児童の学習は侮れない！



実は少ない

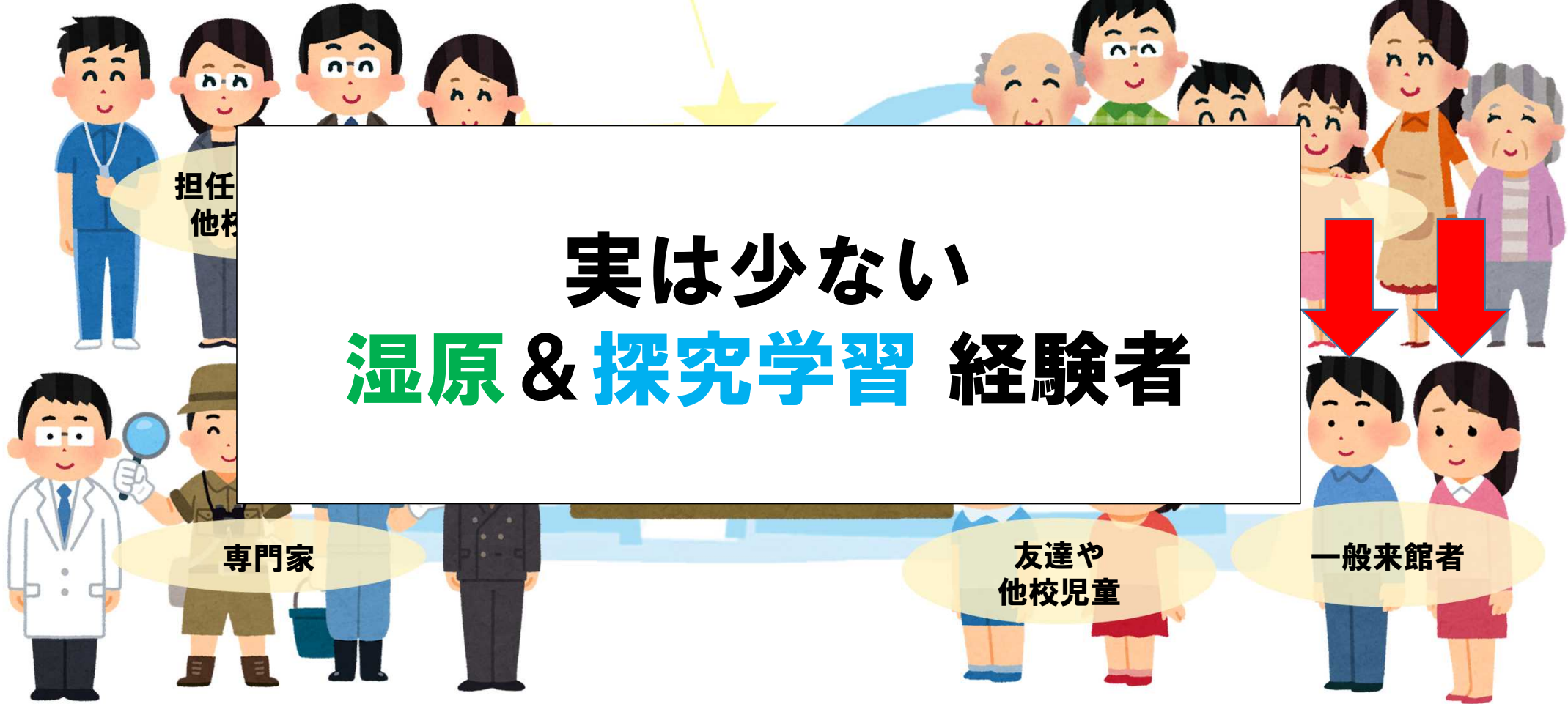
**湿原 & 探究学習 経験者**

担任  
他校

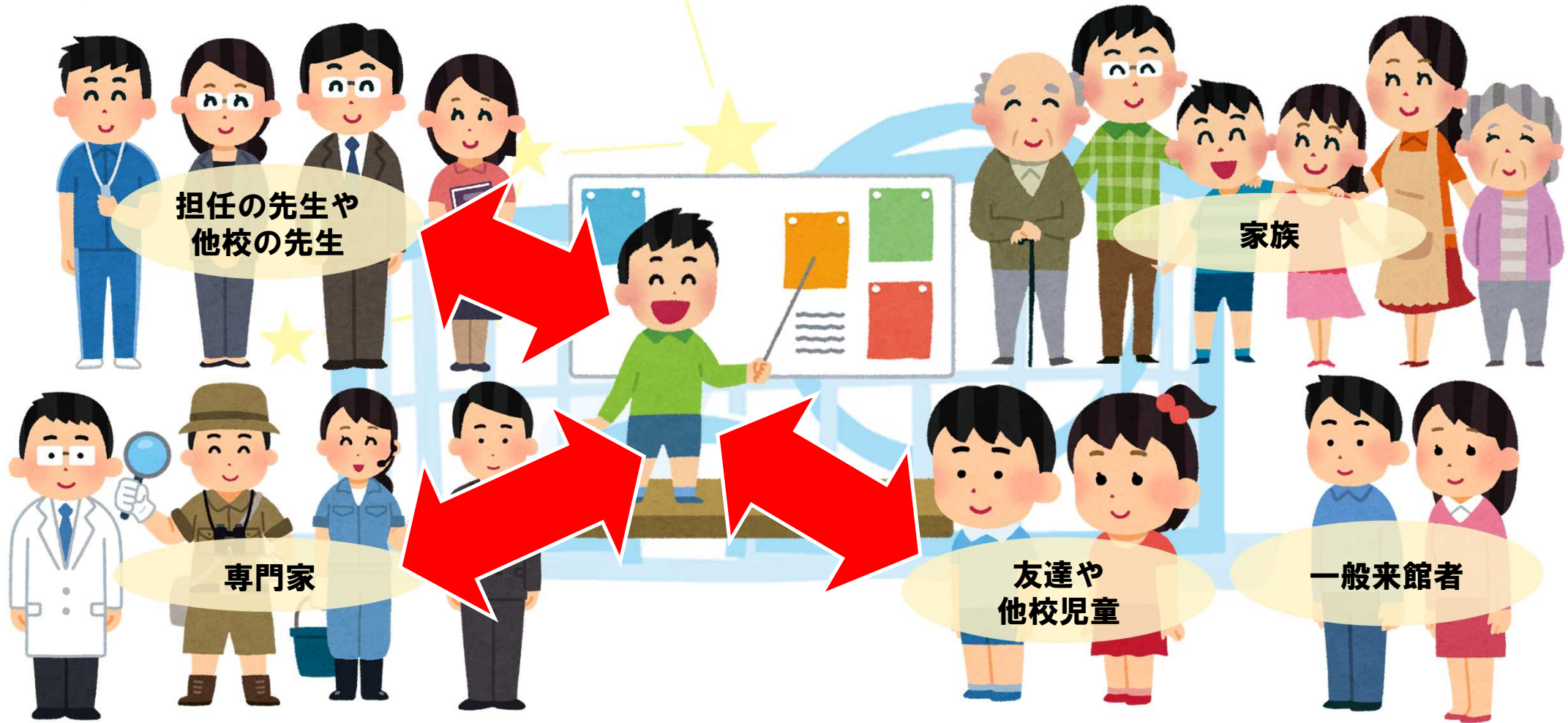
専門家

友達や  
他校児童

一般来館者



# 児童がプラットフォームの中心に



- 短期ビジョン

参加者、来館者の学びのきっかけとなる

参加者、来館者の学びが広がる・深まる

- 長期ビジョン

地域の魅力を発信できる人材を育てる



### 科学発表会 2024

#### ふしぎらんど

10:00 受付

**ヒゲマ会場**

- 10:00 3年 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 10:10 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 10:20 4年 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)

**タンチョウ会場**

- 10:00 4年 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 10:10 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 10:20 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 10:40 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 10:50 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:00 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:10 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:20 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:30 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)

**メイン会場**

- 10:45 受付
- 10:50 5年 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:00 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:10 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:20 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:30 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:40 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)

**セゾウ会場**

- 10:00 6年 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 10:10 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 10:20 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 10:30 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 10:40 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 10:50 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:00 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:10 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:20 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)
- 11:30 動物のからだのしくみについて (徳島県立徳島高等学校)

次の発表はこちら



ヤチボウ

タンチョウサイエンスフェア2024  
タンチョウ会場

湿原学習成果発表

タンチョウについて  
【目次】  
1. タンチョウの生態  
2. タンチョウの生息地  
3. タンチョウの保護  
4. タンチョウの観察

湿原の植物の名前の由来

セリトキリ	アマノハ	ミドリバエ	コノアザミ
セリトキリは、湿原の植物で、花は黄色い。名前は、花の形がセリトキリに似ているから。アマノハは、湿原の植物で、花は白色。名前は、花の形がアマノハに似ているから。ミドリバエは、湿原の植物で、花は赤い。名前は、花の形がミドリバエに似ているから。コノアザミは、湿原の植物で、花は黄色い。名前は、花の形がコノアザミに似ているから。			

中央小学校 組  
舟木 夏子

キトラ古墳 天文図

宇宙口

はしめに  
私は、社会の学習でゴミの学習をしたので、新聞や新聞紙を集めてみました。<予想> 新聞紙や新聞紙には、たくさんの種類のゴミがあると思う。<方法> ゴミを集めて、厚紙社に行くと、ゴミの量を測ることができる。<結果> 新聞紙や新聞紙は、学校でできる工夫。1. プリンは再利用。2. 紙類は残さない。3. 買物はエコバッグを使う。4. 給食をへらす。5. ゴミを出さない。

釧路湿原サイエンスフェア  
釧路市こども遊学館賞 

science  
pot  
サイエンスポット

はじめに  
私は、社会の学習でゴミの学習をしていて、釧路市と湿原を調べてみたいと思い、  
〈予想〉  
釧路市と湿原には、たくさんの種類のゴミがあると思う。  
方法  
①ゴミを集めて、  
②釧路市と湿原に行き、  
③ゴミの量を測る。  
学校でできる工夫  
①ゴミは再利用  
②給食は残さない  
③ゴミはエコバッグで持ち帰る  
④給食をへらさない  
⑤ゴミを出さない

テーマ  
釧路湿原のゴミ

種類	ゴミの量
紙類	60%
プラスチック	2%
資源物	1000%
その他	5%

結論  
皆さんのゴミが、  
湿原には月に1回、  
ゴミ捨てています。

〈考察〉  
たくさんゴミがあると地球温暖化が進むから、  
みんなのゴミを減らそう。

〜3月31日〜  
釧路市と湿原のゴミを減らすために、  
みんなのゴミを減らそう。

釧路市こども遊学館賞  
賞状  
おめでとう



# 釧路市こども遊学館員



はじめに～  
私は、社会の学習でゴミの学習をしていたので釧路市に調べてみたいと思いました。

予想  
釧路市・釧路湿原にはたくさんの種類のゴミがあると思う。

方法  
ごみを集めている厚生社に行ってゴミの量を聞いてくる。

学校でできる工夫  
1 プリンは再利用  
2 給食は残さない  
3 買物はエコバックを使用  
4 給食をへらさない  
5 ゴミを出さない

結果～  
釧路市・釧路湿原には、たくさんのゴミがあるそうです。全て合わせると、世界で一番問題になっているゴミは、プラスチックです。

ゴミの種類	ゴミの量(kg)
PETボトル	40kg
PETボトル	7kg
各種食品	120kg
PETボトル	800kg
紙類	5kg

4R  
Reduce  
Reuse  
Recycle

考察  
たくさんゴミがあると地球温暖化が進むから、みんなのゴミをへらしたい。

5R  
Reduce  
Reuse  
Recycle  
Repair  
Reshare

心算の振り返り～  
釧路市・釧路湿原には、たくさんゴミが落ちていました。4Rをいっしょにやってみようと思います。





釧路湿原サイエンスフェア  
研究発表会 2024



最優秀賞  
釧路市子ども遊学塾  
一日スタッフ体験ツアー

特別賞  
図書カード

奨励賞  
釧路市立博物館  
一日学芸員体験ツアー

奨励賞  
釧路市動物園 獣医さんで行く  
タンチョウレスキューガイド

奨励賞  
釧路市動物園 獣医さんで行く  
タンチョウレスキューガイド  
2023年保護タンチョウ指名権

奨励賞  
釧路市動物園 獣医さんで行く  
タンチョウレスキューガイド

奨励賞  
はてな検校！探究グッズ！

**キャリア教育にも！？**





まいにちタンチョウ・レスキュー@釧路市動物園 @CraneKushirc · Apr 15 ...

【「ぴりか」です。よろしくね!】ピーちゃんのお名前が決定! 「ぴりか」はアイヌ語で「美しい・かわいい」を意味します。

命名者は釧路湿原サイエンスフェア2024で釧路市動物園賞と命名権を受賞した女の子。素敵なお名前をありがとう。ぴりかに、また会いに来てね!

#タンチョウ #動物園 #命名

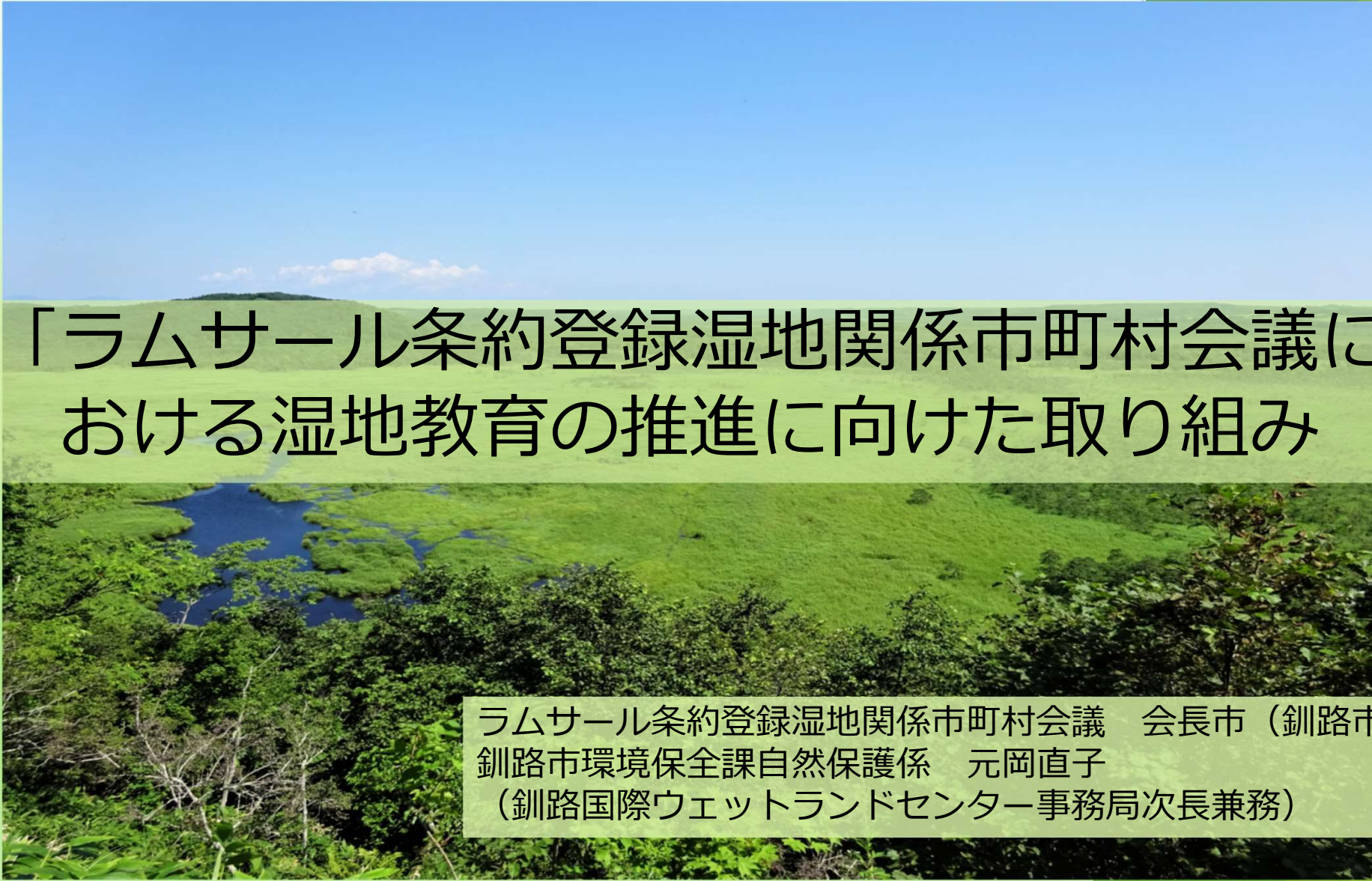


**児童の取り組みは…**

**専門家や地域機関をも  
奮い立たせる**



さいごに・・・  
展示もするけど  
口頭発表の効果は絶大



# 「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議における湿地教育の推進に向けた取り組み

ラムサール条約登録湿地関係市町村会議 会長市（釧路市）  
釧路市環境保全課自然保護係 元岡直子  
（釧路国際ウェットランドセンター事務局次長兼務）





# ラムサール条約登録湿地関係市町村会議とは

設立 1989年6月

目的 ラムサール条約に登録されている湿地及びその他の湿地の適正な管理に関し、関係市町村間の情報交換及び協力を推進することによって、地域レベルの湿地保全活動を促進すること。

活動内容

- ・ **ラムサール湿地等の保全管理に関する研修事業**
- ・ ラムサール条約関係予算獲得のための陳情・請願活動
- ・ 国内登録湿地拡大の取り組みへの支援協力
- ・ 関係市町村がそれぞれの地域で実施するラムサール条約関係事業への協力
- ・ その他、目的達成のために必要な事業

会員数 71市区町村 (2022年9月現在)

国内ラムサール条約湿地は53か所

会長市：釧路市

副会長市：栃木市、佐賀市、監事市：豊岡市、大崎市

(任期 令和5年度～令和7年度)



# 第14回学習交流会テーマ「湿地教育」

## 地域を支える湿地教育

1) フォーマルエデュケーション（学校教育など）における湿地教育を進める  
： COP14 決議XIV.11

2) 3年間のテーマ設定及び成果物

2023年から25年の3年間のテーマ「湿地教育」

フォーマルエデュケーションだけでなく、ノンフォーマルエデュケーションや、インフォーマルエデュケーションと、**フォーマルエデュケーションとの相互協力の取り組みを積極的に取り扱うこととする。**

3) 3年間の計画

1年目 COP14で採択された決議XIV.11の概要理解

**フォーマルとノンフォーマル、フォーマルとインフォーマルの重なりあいの事例共有**

2年目である2024年度は、さらに各地の事例を交流し合って、報告書等の準備をする。

3年目である2025年度は、報告書及びポスターを作成し、全国の事例をまとめる。

# ラムサール条約と環境教育の歴史

2015 ラムサール条約 コミュニケーション・能力養成・教育・参加・普及開発 (CEPA) プログラム2016-2024

2008 ラムサール条約 2009-2015年 交流・教育・参加・普及啓発 (CEPA)プログラム

2005 ラムサール条約CEPA (広報・教育・普及啓発) 監督委員会の設置

1999 1999-2002年ラムサール条約普及啓発プログラム

1996 教育と普及啓発 (決議 6. 19)

1993 ラムサール条約における非政府組織の (NGO) の役割 (勧告 5. 6)  
(釧路) 釧路声明と条約実施のための枠組み (決議 5. 1)  
湿地の賢明な利用 (決議 5. 6)

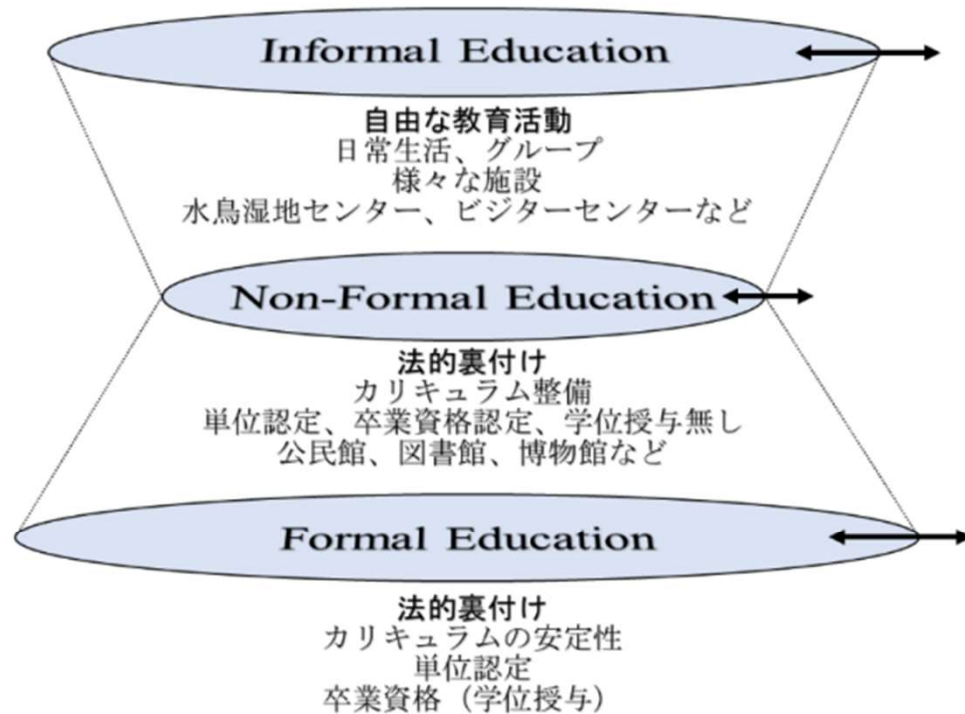
1990 教育と訓練 (勧告 4. 5)  
賢明な利用概念の実施のためのガイドライン (勧告 4. 10)

1987 湿地の賢明な利用 (勧告 3. 3)

1971 ラムサール条約採択 (イラン)

# 第14回学習交流会テーマ「湿地教育」

横から見た図



上から見た図

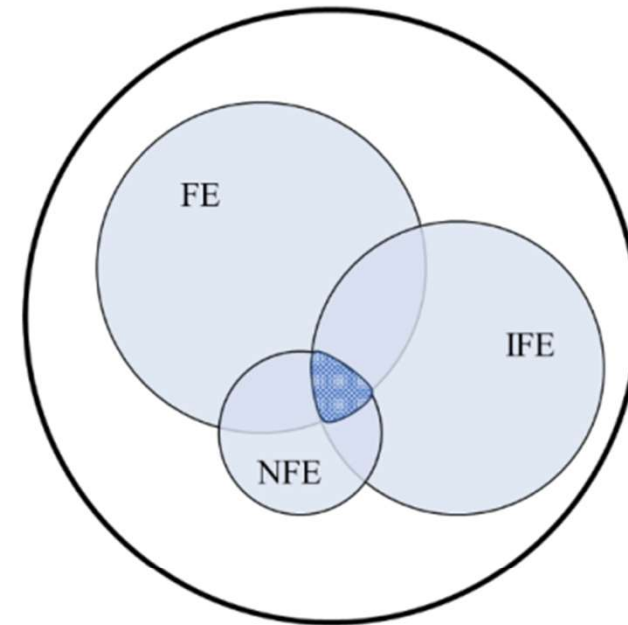


図1 FE-NFE-IFEの関係図

Japanese Journal of Environmental Education  
VOL33-4より抜粋（日本語版参考入手）

# 第14回学習交流会テーマ「湿地教育」

## ラムサール条約登録湿地関係市町村会議 第14回学習交流会 グループワーク事前準備用ワークシート

- 第14回学習交流会のグループワークでは、各自治体で実施しているフォーマル、ノンフォーマル、インフォーマル湿地教育の内容を共有し、①重なり合いを広げ・深めていくために何が必要か、②どのようなアプローチが必要か、何から取り組むかの視点でディスカッションを行います。
- 限りのある時間の中でより効果的に議論ができるよう、参加者の皆さまには**事前にワークシートを作成していただき**、当日は根拠紙上にカードを並べながら議論した後、グループとしてとりまとめます。
- 事前準備用ワークシートは、カラー印刷し、右の記入例を参考として、各分類ごとに最低1つずつ記入し、**当日ご持参ください**。
- フォーマル、ノンフォーマル、インフォーマル・エデュケーションの概念については別紙の説明文をご覧ください。
- 各分類ごとに2つ以上記入する場合は、本ワークシートを複数枚印刷してお使いください。

<記入例>

**取り組み名:** 釧路湿原散歩

**主体:** 釧路市教育委員会

**場所:** 釧路湿原

**対象:** 全学専修

**人数:** 約20名 **頻度:** 年3回

**内容:** 湿原遠足、ガイドと歩く、発表会

**連携:** K16C

授業会、活動名など

必ずしも自治体が主催でなくとも良い

ラムサール条約登録湿地以外の場所も可

(原則)市町村名記入

フォーマルエデュケーションがノンフォーマル、またはインフォーマル・エデュケーションと重なり合いがある場合、○印をつけ、連携の要素を簡単に記入。重なり合いが無い・分らない場合は空欄可。



★ **インフォーマル湿地教育**      ● **ノンフォーマル湿地教育**      ■ **フォーマル湿地教育**

<p><b>取り組み名:</b></p> <p>★</p> <p><b>主体:</b></p> <p><b>場所:</b></p> <p><b>対象:</b></p> <p><b>人数:</b>      <b>頻度:</b></p> <p><b>内容:</b></p> <p><b>連携:</b> ●    ■</p>	<p><b>取り組み名:</b></p> <p>●</p> <p><b>主体:</b></p> <p><b>場所:</b></p> <p><b>対象:</b></p> <p><b>人数:</b>      <b>頻度:</b></p> <p><b>内容:</b></p> <p><b>連携:</b> ★    ■</p>	<p><b>取り組み名:</b></p> <p>■</p> <p><b>主体:</b></p> <p><b>場所:</b></p> <p><b>対象:</b></p> <p><b>人数:</b>      <b>頻度:</b></p> <p><b>内容:</b></p> <p><b>連携:</b> ★    ●</p>
<p><b>取り組み名:</b></p> <p>★</p> <p><b>主体:</b></p> <p><b>場所:</b></p> <p><b>対象:</b></p> <p><b>人数:</b>      <b>頻度:</b></p> <p><b>内容:</b></p> <p><b>連携:</b> ●    ■</p>	<p><b>取り組み名:</b></p> <p>●</p> <p><b>主体:</b></p> <p><b>場所:</b></p> <p><b>対象:</b></p> <p><b>人数:</b>      <b>頻度:</b></p> <p><b>内容:</b></p> <p><b>連携:</b> ★    ■</p>	<p><b>取り組み名:</b></p> <p>■</p> <p><b>主体:</b></p> <p><b>場所:</b></p> <p><b>対象:</b></p> <p><b>人数:</b>      <b>頻度:</b></p> <p><b>内容:</b></p> <p><b>連携:</b> ★    ●</p>



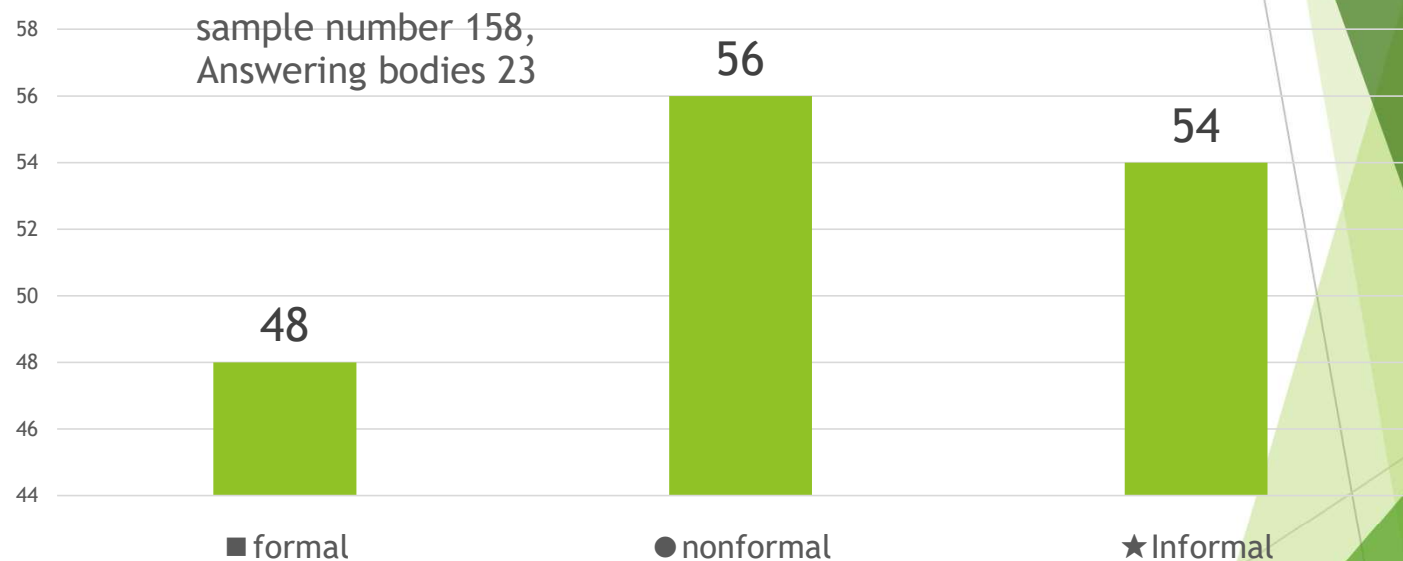
# 第14回学習交流会テーマ「湿地教育」

## 参加者の気づき（まとめの発表から）

- 地域団体（協議会、NPOなど）がしっかりとあるところは、教育委員会や市の施設を活用し、フォーマルとの連携がうまくいく可能性が高い。
- フォーマル、インフォーマル、ノンフォーマルの重なりが大切である。
- 拠点施設や組織があることで重なりが促進される。
- 日本全国に、地域自然や得意分野を活かした多様な湿地教育がある。湿地という言葉にとらわれず、産業や動物や外来種駆除など、多様な湿地教育の在り方。
- 決議の履行に向けて具体的にわかりやすく、決議の内容をかみ砕くことが、実施主体にとって大切。（どう関係してくるのか？関係性の整理）
- 行政主体の湿地教育の難しさがある。幅広い裾野があつてこそ。
- 地元外の教員が増えている。教員向けの研修があれば、よりフォーマルの推進が進む。
- 学校教育の中で一括して取り組むことがフォーマルの推進において一番の近道。
- 学校からの提案は少なく、行政側からのアプローチが多い。

# 第14回学習交流会テーマ「湿地教育」

## ● 学習交流会のワークから見えてきたこと



# 第14回学習交流会テーマ「湿地教育」

## ●学習交流会のワークから見えてきたこと

	主体			
	1	2	3	4
	小中学校 (市町村所管)	高校、大学 (都道府県ほか)	教育委員会	その他(市長部局、環境 団体、企業など)
fomal	25	7	10	6
nonformal	2	0	4	50
infomal	0	0	1	53
	対象			
	1	2	3	4
	児童・生徒 (初等、中等教育)	児童・生徒・学生 (高等教育まで)	一般	その他
fomal	31	15	0	2
nonformal	14	12	26	4
infomal	11	4	34	5
主体4(その他)で教育委員会との連携があるところ				
	件数	該当自治体名、取り組み名		
fomal	0			
nonformal	2	佐賀市(小中学校) 大崎市(小中学校)		
infomal	3	美祢市(Mine秋吉台ジオパーク推進協議会)一般 浜中町2件(NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト)小学校1~6		
				決議の履行に向けて、促進していく分野 緑をフォーマルに上げていくために、 教育委員会との連携事例の共有が重要 この部分が学校教育とされていない理由の整理



# 釧路で行われている湿地教育

## 【釧路市の取組み】

- ・ 釧路市体験型環境学習支援事業
- ・ まなぼつとわくわく探検隊
- ・ 環境教育に対する教員研修講座

## 【学校の取組み】

- ・ 阿寒中学校 鶴特別委員会
- ・ 釧路湖陵高校  
スーパーサイエンスハイスクール
- ・ 阿寒湖義務教育学校 マリモ観察会
- ・ 北海道教育大学釧路校  
持続可能な開発のための教育推進センター
- ・ 釧路公立大学 環境地理学

## 【釧路市が事務局の取組み】

- ・ こどもエコクラブくしろ
- ・ 釧路湿原国立公園連絡協議会  
こどもレンジャー
- ・ 釧路国際ウェットランドセンター

## 【環境省が事務局の取組み】

- ・ 釧路湿原自然再生協議会  
再生普及小委員会  
湿原学習のための学校支援  
ワーキンググループ

# 釧路国際ウェットランドセンター（KIWC）の役割

設立：1995年1月26日

設立経緯：

ラムサール条約のニアシア初の締約国会議（COP5）後の開始における「釧路声明」の履行に向けた国際貢献を担う組織として、ラムサール条約事務局、環境庁、国際水禽湿地調査局、アジア湿地調査局、北海道の立ち合いのもと、設立。

目的

- ・ 釧路地域のラムサール条約登録湿地（釧路湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原、霧多布湿原、阿寒湖）の湿地生態系を維持。
- ・ その恵みを長く活用するための「ワイズユース（賢明な利用）」の推進
- ・ 地域の取組みや成果を国内外に発信すること。

主な活動

- ・ 湿地関係の国際会議、ワークショップの開催・講演会、観察会など普及啓発事業の実施・技術委員会による調査研究、技術協力・JICA研修事業の受託・姉妹湿地交流

# 釧路国際ウェットランドセンター (KIWC)の役割

釧路国際ウェットランドセンター (KIWC)



周辺市町村：負担金の出資

## 主な活動

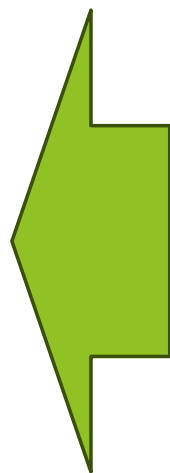
- ・ 湿地関係の国際会議、ワークショップの開催
- ・ 講演会、観察会など普及啓発事業の実施
- ・ 技術委員会による調査研究、技術協力
- ・ JICA研修事業の受託
- ・ 姉妹湿地交流

# 釧路市の学校教育における 湿地教育の現状と課題

教育委員会と連携が弱い

現行の指導要領に沿った形で情報を提供できていない

学校教育の現場が求める支援と提供が不十分（人材、予算など）



これらを提供できる団体として

釧路地域ではこれまで地域の湿地保全のCEPAを担ってきた

**「釧路国際ウェットランドセンター」**

に求められる役割が大きい

# 今後の市町村会議の取組み（～令和7年度）

- 第15回学習交流会における・**公教育（学校教育）との連携事例**の紹介
- 日本湿地学会における中間発表（現状と課題）、環境省に提出
- 日本の湿地教育の枠組みと様々な事例をまとめた報告書を作成